

## 地域発のアイデアから誕生！ 「古賀市交流型日本語教室」紹介カードを作成

この度、市が運営する「古賀市交流型日本語教室」の存在や魅力をより多くの人に知っていただくため、「古賀市交流型日本語教室」紹介カードを作成しました。

このカードは、日本語を学ぶ学習者と地域のボランティアスタッフの発案により、ちょうど良い、名刺サイズの二つ折りカードに仕上げました。

カードの種類は全部で5種類。日本文化をモチーフにしたシンプルかつカラフルなあしらいで、思わず手に取りたくなるデザインとなっています。中面には年間スケジュール、裏面には教室の開催場所・時間・SNS 情報などを掲載し、必要な情報が一目でわかるのも特徴です。

### ■事業の経緯

本市の外国籍市民数は令和7年3月末現在、1,322人となっており、年間約200人弱のペースで増加しています。地域で暮らす外国籍住民の多くは、日常の様々な場面で日本語を必要としていること、また、日本語を学ぶだけではなく、生活そのものを支える関係性や居場所を求めています。

本市が実施している交流型日本語教室は、地域のボランティアスタッフが、学習者の希望に応じ、日本語を教え、地域の情報を伝え、楽しく会話をするなど「安心して暮らすため」の大切な入口となっています。

しかし、交流型日本語教室の存在を知らない人が多く、特に転入して来た人や、言葉に不安がある人にとって、自ら情報を探しに行くのはとても難しいです。教室の存在を「知ってもらう」ためには、地域の中での積極的な発信や紹介が必要になります。

「交流型日本語教室を、どのように地域の中に広げていけるか」「もっと多くの人に知ってもらうためには、何が必要か」「一人でも多くの外国籍住民等に伝えるにはどうしたらいいのか」といった問いに、学習者とスタッフみんなで向き合い、話し合いながら形にしていきました。

### ■3つの特徴

#### ①「教室に関わる人たちの声から生まれた」

交流型日本語教室が大切にしている「人と人とのつながりや対話ができ、誰もが安心して参加することのできる、あたたかい居場所である」教室の雰囲気やスタッフの想いを、カードに込めました。

#### ②「ロコミのツールとして活用できる」

スタッフや学習者自身が、友人・知人に紹介する際に気軽に渡せるよう、小さく持ち歩きやすいサイズにしています。

#### ③「育てることができるカード」

実際に使っていく中で「もっとこうしたい」といった声を大切にできるよう、職員が作成します。必要な情報や改善点に柔軟に対応し、スタッフや学習者、もらった人と一緒に育てることができるカードになっています。

### ■設置先

- ・古賀市役所・リーパスプラザこが
- ・市内スーパー

※そのほか、スタッフや外国籍の学習者による手渡し



### ■古賀市交流型日本語教室

毎週土曜日 10時から 11時30分まで、リーパスプラザこが 302室で開催しています。日本語の学びだけでなく、地域で暮らす人々が出会い、支え合い、学び合う場として開催しています。

### 【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係  
担当：青柳・八木 電話：092-942-1165